コミュニティソーシャルワーカー（CSW）スキルアッププログラム

せんだい宮城の地域福祉の推進に社会的インパクトをもった新たな状況の創造を目指すイノベーショナルな取り組み

CSW活用現場

コミュニティソーシャルワーク活用の場

『CSWに求められる役割』

- 地域資源のほりおこしとネットワークづくり
- 地域の福祉課題の把握と解決
- 個別支援
- 新たなサービスの開発や自治体への提案　など

先端の知見を教材化

研究成果を現場で活用

地域福祉の専門的な担い手

事例の共有化

CSW養成講座

実務家×研究者による本格的な学びの場

- 体系性と実践性をもったカリキュラム
- 開講総時間数153時間の本格的な学び
- 地域福祉の現場で活躍する多彩な講師陣

養成講座　受講者例

- 市町村社会福祉協議会職員
- 児童相談所職員
- 地域包括支援センター職員
- 保健センターの保健師
- 訪問看護センターの看護師
- NPO職員 等

カリキュラムの見直し

継続的な学びの場

CSW研究会

講座終了後の継続的な学びの場

- 講座終了後の継続的な学びの場
- 講師陣による、実践活動へのスーパービジョン
- CSW活動ノウハウの共有化
- 多職種間のネットワークの構築
- カリキュラムの見直し

研究会 参加者例

- 自治体関係者
- 社会福祉協議会関係者
- CSW養成講座 講師、履修生
- 大学関係者　等

職業実践力育成プログラム(BP)

- 履修証明プログラム
  「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）スキルアッププログラム」の実施
  - ・平成28年度　修了生14名
  - ・平成29年度　受講生15名

27年度
研究会活動の
成果として

地（知）の拠点整備事業（COC）

- CSW研究会
  - ・平成27年度研究会を6回開催
  - ・平成28年度研究会を4回開催
  - ・CSW育成プログラムの構築
- 地域共生教育システムの確立
- 自治体との連携
  - ・市民参加型まちづくり　等

⋮